

## 令和元年 第16回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 令和元年9月27日(金) 開始時刻 午後3時15分～
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 小堀教育長, 大場委員, 伊藤一委員, 清島委員, 伊藤三千代委員
- 4 説明員 菊池教育次長, 栗原学校教育担当次長, 桐原副参事(国体推進担当), 秋山教育企画課長, 石和総務担当主幹, 増渕学校管理課長, 鈴木学校教育課長, 荒木学校健康課長, 増渕生涯学習課長, 山口文化課長, 掛布スポーツ振興課長, 荒井国体推進課長, 廻谷教育センター所長
- 5 書記 田上課長補佐, 横塚総務担当副主幹, 尾嶋係長, 関係長, 渡邊総括
- 6 傍聴者 1名
- 7 議題
  - (1) 審議事項
    - 議案第34号 宇都宮市学校教育問題対策専門委員会委員の委嘱について
    - 議案第35号 宇都宮市学校教育問題対策専門委員会への諮問について
    - 議案第36号 令和2年度宇都宮市立小・中学校教職員定期異動に係る基本的な考え方について
  - (2) 報告事項
    - 報告第54号 令和元年9月議会一般質問の概要について
    - 報告第55号 教育行政相談の内容と対応について
    - 報告第56号 隣接校との通学区域弾力化等による令和2年度入学者の募集について
    - 報告第57号 テクノポリスセンター地区新設小学校の校名について
    - 報告第58号 平成31年度「全国学力・学習状況調査」, 「とちぎっ子学習状況調査」の結果について
  - (3) その他
    - ① 「第14回うつのみや食育フェア」の開催について
    - ② 令和元年度第1回宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会の結果について
    - ③ うつのみや版親学と子どもの情報誌「こどもるっくる」第17号について
    - ④ 令和元年度宇都宮市民大学(前期講座)実施状況について
    - ⑤ 第25回うつのみや百人一首市民大会, 蓮生記念第6回全国競技かるた宇都宮大会の開催について
    - ⑥ 第77回国民体育大会宇都宮市準備委員会第3回総会及びいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会宇都宮市実行委員会第1回総会の開催結果について
    - ⑦ 宇河地区特別支援学級児童生徒作品展について

## 8 議事の内容

- 教育長 ただいまから、令和元年第16回宇都宮市教育委員会を開会する。  
本日の会議録署名委員は、清島委員、伊藤（三）委員とする。
- 教育長 第14回、第15回教育委員会の会議録について、ご意見などあるか。  
（特になし、全員了承）
- 教育長 それでは、第14回の会議録署名委員の大場委員、伊藤一委員に署名をお願い  
する。  
（会議録に署名）
- 教育長 また、第15回の会議録署名委員の伊藤一委員、清島委員に署名をお願いする。  
（会議録に署名）
- 教育長 議案第34号、議案第35号、及び報告第55号は、「個人情報が含まれている  
もの」であるため、非公開としてよろしいか。  
（全員賛成）  
全員賛成なので、これについては非公開とする。
- 教育長 それでは審議事項に入る。  
議案第36号 「令和2年度宇都宮市立小・中学校教職員定期異動に係る基本  
的な考え方について」説明願う。

学校教育課長

### 【説明要旨】

- 県の異動方針を基に、市としての異動にかかる基本的な考え方を決定する
- 基本方針
  - ① 異動希望の有無にかかわらず、全市的視野での異動を推進し、適材適所の配置に努める。
  - ② 地域や校種間及び特別支援学級との人事交流の推進など、人材の育成を重視した教職員配置に努める。
  - ③ 高い識見を有し、優れた指導力を発揮できる人材を管理職者として登用し、地域や学校の実情に応じた配置に努める。
  - ④ 教職員の世代交代を踏まえ、教職員組織の年齢構成を考慮した教職員の配置に努める。
  - ⑤ 学校経営ビジョンの具現化と特色ある学校づくりの推進のため、教職員の特性を考慮した配置に努める。
- 具体的実施方針
  - ① 適材適所の配置について
    - ・ 教職員として必要な資質能力の向上を図るために、学校規模、地域特性を考慮し、様々な環境の学校で経験を積めるような配置に努める。
    - ・ 課題のある学校には、経験が豊富で、力量のある教職員を配置する。

学校教育課長

② 人事交流の推進について

- ・ 本市小中学校一貫教育の推進，専門性を生かした教科指導の充実を図るため，より一層，小・中学校間の異動を推進する。
- ・ 特別支援教育推進の核となる人材を育成する観点から，県立特別支援学校との研修交流や中堅・若手教員の特別支援学級担任等の任用を積極的に推進する。
- ・ 県が推進する，他市町村への異動を推進する。

③ 管理職等への登用について

- ・ 校長については，リーダーシップを発揮しながら見通しを持って学校経営を行えるように，副校長についてはさまざまな環境の学校で経験を積めるようにする。
- ・ 活躍が期待される教職員には，年齢や勤続年数等にとらわれることなく，主任等の経験を積む機会が与えられるような配置に努める。

④ 年齢構成等の適正化について

- ・ 教職員の大量退職及び新規採用教職員の増加等によるベテランと若手の二極化が進む中，学校組織の活性化や各学校における年齢構成の適正化を図る。

⑤ 特色ある教育活動の推進について

- ・ 異動に関する校長の意見を人事異動に反映させるよう努める。
- ・ 「特色ある教育活動推進のための教職員の配置」を推進していく。

教育長

説明は以上だが，質疑などはあるか。

伊藤 (-) 委員

育休を取る女性教員が管理職に登用される割合はどれくらいか。

学校教育課長

そのような統計はとっていない。今年度の本市の女性校長の割合は全国値と比べ，小学校は全国の19.6%に対して宇都宮市は27.9%，中学校は全国の6.7%に対して宇都宮市は8.0%と多い。

伊藤 (-) 委員

育児休暇を取っていても昇進が可能だという統計をとれば，それがひとつのアピールになる。統計の取り方として考えてみてはどうか。

学校教育課長

管理職の中で子どもの有無を調べることはできるが，育休を取得したからと言って昇進が有利不利になることはない。民間や行政は年齢に応じて昇給試験があると思うが，学校は「教諭」という職は変わらず，40歳以上で10年以上の経験年数があれば誰でも管理職試験を受けることができる。

伊藤 (-) 委員

子育てを経験して，実際に幼児発達心理を理解している教員を管理職試験において優遇してもいいのではないかと思うが，いかがか。

学校教育課長

登用に関しては，機会均等で優秀な人材に登用するものであり，多くの職員が意欲を持って試験を受けるよう，校長会議等でも働きかけをしていきたい。

大場委員

教員は男女差がない職業であり，子どもの有無は職業には関係無いと思う。

教育長

多くの校長を知っているが，独身者も既婚者いる。子どもが大勢いる校長もいるし，いない人もいる。管理職登用には関係無い。

清島委員

同一校在任期間についてだが，持ちあがり校長，副校長になった場合の同一校在任期間は考慮すべきではないか。すぐに異動になってしまえば，特色を生かした学校づくりが難しいのではないか。

学校教育課長 在職期間については、校長は見通しを持った学校経営を行うために副校長より長めに、副校長は様々な学校を複数経験できるよう校長より短めになっている。同一校で職が変わる職員については一定の年数ではなく、柔軟にバランスを取りながら対応している。

教育長 それでは、議案第36号を決定してよろしいか、  
(全員了承)  
議案第36号を決定する。

教育長 次に報告事項に入る。  
報告第54号 「令和元年9月議会一般質問の概要について」説明願う。

総務担当主幹

**【説明要旨】**

- 令和元年9月議会では、13人の議員から47件の質問があった。
- 主なものは以下のとおり。
- 教育企画課
  - ・ 公立夜間中学の設置について
  - ・ 市長の教育に対する見識について
  - ・ 返還免除型奨学金の充実
  - ・ 小規模特認校制度について
- 学校管理課
  - ・ 部活動への援助について
  - ・ 小中学校体育館へのエアコン設置について
  - ・ 小中学校のプールについて
  - ・ 更衣室について
  - ・ トイレの洋式化と多目的トイレの整備について
- 学校教育課
  - ・ 教育改革について
  - ・ 多様性を認め合う社会に向けた教育について
  - ・ 外国人児童生徒への指導・支援について
  - ・ 学びの機会の平等について
  - ・ 教員の確保について
  - ・ 映像授業の導入について
  - ・ 社会的弱者に対する取り組みと理解促進について
  - ・ 中学校制服について
  - ・ 教育虐待防止へのサポートについて
- 学校健康課
  - ・ 空間放射線量測定の対応について
  - ・ パラアスリートから学ぶ障がい者理解について
  - ・ 通学路の安全対策について
  - ・ 給食の無償化と調理環境について

総務担当主幹

- 生涯学習課
  - ・ 人口減少時代の新しい社会教育について
  - ・ 教育改革について
  - ・ 子どもの家等事業における運営体制の再構築について
  - ・ 小1の壁の対策について
  - ・ 東図書館の駐車場への対応について
  - ・ 親学について
  - ・ 平和月間の取組について
  - ・ 子どもの家等事業の今後のあり方について
  - ・ 地域未来塾の今後の展開について
- 文化課
  - ・ 効果的な情報発信について
  - ・ 山車・屋台展示収蔵庫の設置について
  - ・ 音楽のまちづくりについて
  - ・ 市街地での音楽活動について
  - ・ 宇都宮城の魅力向上  
VRの活用について
- スポーツ振興課
  - ・ パラスリートから学ぶ障がい者理解について
  - ・ 東京オリンピック・パラリンピック対策  
地域活性化及びレガシーの醸成に向けた取り組みについて
  - ・ 新たなスポーツへの対応について
- 国体推進課
  - ・ 平和都市宣言の広報塔の国体アピールへの変更について
- 教育センター
  - ・ 不登校について
  - ・ 特別支援教育について
  - ・ 学校教育とICTの活用について
  - ・ プログラミング教育について
  - ・ 社会的弱者に対する取り組みと理解促進について
  - ・ 若者の自立支援について
  - ・ 不登校の要因と対策について

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。

(特になし)

それでは、報告第54号を承認してよろしいか。

(全員了承)

報告第54号を承認する。

教育長

報告第56号 「隣接校との通学区域弾力化等による令和2年度入学者の募集について」説明願う。

教育企画課長

**【説明要旨】**

- 「隣接校との通学区域弾力化制度」及び「小規模特認校制度」による、令和2年度入学児童募集については、令和元年10月1日から令和2年1月15日までを募集期間とし、応募者数が募集人数を超える場合は、抽選により入学承認者を決定する。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。

(特になし)

それでは、報告第56号を承認してよろしいか。

(全員了承)

報告第56号を承認する。

教育長

報告第57号 「テクノポリスセンター地区新設小学校の校名について」説明願う。

教育企画課長

**【説明要旨】**

- 新設小校名作成の進め方については、新設小に対する機運を醸成しつつ、児童や保護者、地域住民などが新設小に愛着、親しみ、誇りを持つことができるよう、多くの方の幅広い意見を聴きながら行っていくことが重要である。
- 校名は、「公募」により募集し、清原地区新設小学校開校準備委員会で意見を伺いながら、複数の候補を決定し、その中から教育委員会が令和2年1月を目途に、1つの校名案を決定する。その校名案を以って、「宇都宮市市立学校設置条例」の一部改正案を市議会に提出し、条例改正の議決を経て決定する。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。

(特になし)

それでは、報告第57号を承認してよろしいか。

(全員了承)

報告第57号を承認する。

教育長

報告第58号 「平成31年度「全国学力・学習状況調査」、「とちぎっ子学習状況調査」の結果について」説明願う。

学校教育課長

**【説明要旨】**

- 教科に関する調査の結果について、「全国学力・学習状況調査」では小6が国語・算数ともに、平均正答率が全国平均をやや下回り、中3では全教科で全国平均・県平均を上回っている。「とちぎっ子学習状況調査」では小4・小5・中2の全教科で平均正答率が県平均以上となっている。
- 児童生徒のアンケート結果では、課題の解決に向けて授業に主体的に取り組む態度が良好であるなど、肯定的な回答が多かった。一方で、学校の授業以外における学習時間については、県の平均を下回るなど課題が見られた。
- 学校アンケートでは、授業において児童生徒自身が課題解決を図る学習の充実が図られているなど、肯定的な回答が多かった。一方で、学力調査における課題の改善状況を確認する方法については、検討が必要である。
- 児童生徒のアンケートと教科の正答率のクロス集計結果について、学力との

|         |   |
|---------|---|
| 学校教育課長  | <p>相関が高い質問について考察したところ、正答率が高い児童生徒は疑問に思ったことを追求しようとする意欲をもち、主体的に学習に取り組んでいることなどが分かった。</p> <p>○ 市教委の今後の取組については、調査結果を活用した指導内容や指導方法の改善を推進し、きめ細やかな指導助言に努める。学校においては、学校全体での指導の工夫・改善に取り組むP D C Aサイクルを着実に実行し、「宇都宮モデル」等を参考にするなどして、授業改善を図り校内研修の実施方法を工夫しながら、引き続き教員の授業力向上に努める。</p> |
| 教育長     | 説明は以上だが、質疑などはあるか。   |
| 伊藤(一)委員 | 学力テストの結果を受けて考察するのは良いが、有意的な差でない平均回答率をマスコミが取り上げ、一喜一憂するのはどうか。もっと深い分析・論評をしてもらいたい。   |
| 清島委員    | 学校の授業時間以外の勉強時間について「全くしない」と回答した児童生徒の割合があるが、その部分の国や県の割合は出ているのか。   |
| 学校教育課長  | 大差はないが、小学校は国・県と比べてやや多く、中学校はやや少ない。学校単位で集計が出来ているので、学校ごとに分析することはできる。   |
| 清島委員    | なるべくその数字を少なくしていく方がいいが、手に職を持つことを目指している児童生徒もいるだろう。あまり悲観的にならなくてもいいのではないか。また、学力調査における課題の改善状況を確認する方法についての、習得状況の県平均との差が気になるがいかがか。   |
| 学校教育課長  | 宇都宮市が各学校に指導しているのは、「指導力の向上」と「授業の質の向上」である。アンケートの設問は過去の問題を活用しているかという問いであり、本市はそういったテスト対策という事ではなく、今の子どもたちと向き合って授業の改善に取り組んでいる。そのためこのような結果が出たのではないかと思う。ただ、1つの指標にはなるので、力をつけさせるため色々な問題に取り組ませることは有効だと思われる。  |
| 伊藤(三)委員 | 教員から見て今回のこの結果は妥当なものか。また、教員はこの結果を受けてどのような対策をしていくのか。  |
| 学校教育課長  | 夏休み期間中に分析・状況・課題の洗い出しをし、夏以降の授業につなげている。また、各学校は分析結果をホームページに掲載して、結果や課題、これからの対策について公表して取り組んでいる。教育委員会としては、各学校に分析した結果を持参し担当者に指導している。   |
| 大場委員    | 学校の授業以外の学習時間が県の平均を下回っているにもかかわらず、平均点は上回っている。それは授業が素晴らしく、そこで児童生徒が理解できているというように考えられる。ただ、家庭学習時間については、何年も前から学習時間の短さが問題になっている。いろいろ対策もしていると思うがいかがか。  |
| 学校教育課長  | やはり授業だけでは身に付かない。学校では、担任が個別に家庭学習ノートをチェックするなど地道な取組みをしている。   |
| 教育長     | <p>それでは、報告第58号を承認してよろしいか。</p> <p>(全員了承)</p>   |

報告第58号を承認する。

教育長

次に「その他」の案件になるが、その他の案件については、資料提供のみであるので、後ほどご覧いただきたい。

**【公開できる案件の終了】**

教育長

これからの議案は非公開の案件であるため、傍聴者等の退席をお願いする。

**【傍聴者の退席，非公開審議の開始】**

- 議案第34号 宇都宮市学校教育問題対策専門委員会委員の委嘱について  
⇒ 決定
- 議案第35号 宇都宮市学校教育問題対策専門委員会への諮問について  
⇒ 決定
- 報告第55号 教育行政相談の内容と対応について  
⇒ 承認

**【非公開審議の終了】**

教育長

その他委員の皆様から何かご意見などあるか。

(特になし)

次に、事務局から連絡事項をお願いする。

事務局

連絡事項説明（教育企画課長補佐）

- 今後の会議等の日程について
  - ・ 10月18日（金） 午後3時～ 定例会

教育長

以上をもって、本日の委員会を閉会とする。

終了時刻 午後4時55分

署名委員

\_\_\_\_\_

署名委員

\_\_\_\_\_